

厳しい環境条件下におけるサンゴ礁の面的保全・回復技術開発実証事業

【平成31年度予算概算要求額 150（150）百万円】

<対策のポイント>

漁場環境の保全の観点から、大規模に衰退したサンゴの効率的・効果的な保全・回復を図るため、サンゴ礁の面的な保全・回復技術の開発・実証を行い、事業展開に向けた計画・実施手法を早急に確立することを目指します。

<政策目標>

水産資源の回復（漁場環境の保全）

<事業の内容>

1. サンゴ礁への幼生供給力を高める面的な保全・回復技術の開発

- 浮遊幼生の移動特性を踏まえた効果的な基盤の配置手法やサンゴ幼生供給基盤と供給規模を拡大する技術及びサンゴ幼生着床・育成基盤と着床率を向上させる技術の開発・実証を行います。
- 移植サンゴの成長阻害要因対策手法の開発・実証やICT技術を活用したサンゴの被度・計測技術の開発を行います。

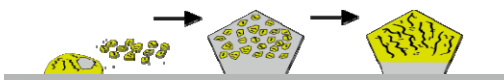
2. 海洋環境等変化に順応できるサンゴ開発

- 海洋環境等の変化に強いサンゴ種の増殖手法及び高温耐性型サンゴの種苗育成技術を開発します。

2. 海洋環境等変化に順応できるサンゴ開発

●海洋環境等の変化に強いサンゴ種の増殖手法の開発

環境に強いハマサンゴを人工物に貼布することで、ハマサンゴ化する(リスキンング)



●高温耐性型サンゴの種苗生産技術の開発



高温耐性を有する褐虫藻を人工的に共生させサンゴを高温耐性化

●サンゴ幼生着床・育成基盤及び幼生着床技術の開発・実証



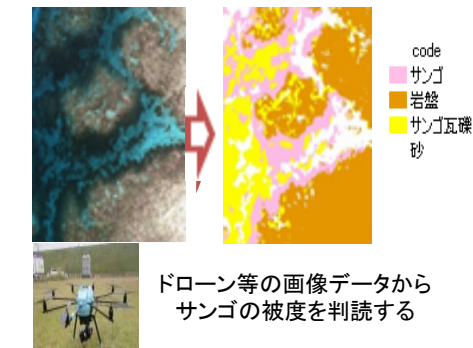
<事業イメージ>

1. サンゴ礁への幼生供給力を高める面的な保全・回復技術の開発

●浮遊幼生の移動特性を踏まえた効果的な基盤の配置手法の開発・実証

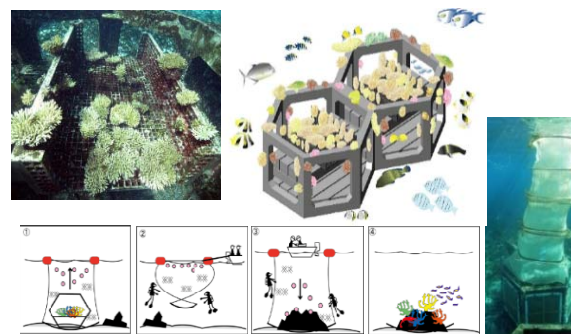


●ICT技術を活用したサンゴの被度・計測技術の開発



ドローン等の画像データからサンゴの被度を判読する

●サンゴ幼生供給基盤及び幼生供給規模拡大技術の開発・実証



幼生供給基地と幼生収集装置を用いたサンゴ幼生確保・放流の手順

●移植サンゴの成長阻害要因対策手法の開発・実証

【白化対策(シェーディング)】

強光を遮り水温上昇を防ぐ



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】水産庁整備課（03-6744-2390）